

お 知 ら せ

平成27年10月26日
国土交通省中部地方整備局
入札監視委員会第二部会事務局

中部地方整備局入札監視委員会第二部会が第2回定例会議を開催

— 審 議 概 要 公 表 —

中部地方整備局入札監視委員会第二部会の平成27年度第2回定例会議を10月9日、中部地方整備局にて開催しました。

第二部会第2回定例会議では、発注工事等の中から抽出した5件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関です。

当該委員会では、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

以下、審議概要についてお知らせします。

1. 日時及び場所

日 時：平成27年10月9日（金）10時00分～12時00分

場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

2. 審議概要

別紙のとおり

3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ

専門紙記者会

名古屋港記者クラブ

港湾新聞

港湾空港タイムス

日本海事新聞

海事プレス

4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 岡本 耕司

電話 052-209-6316(ダイヤルイン)

FAX 052-203-9738

別紙1

平成27年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成27年10月9日(金) 中部地方整備局(丸の内庁舎)			
委員	[部会長] 横溝 大 (大学院教授) 伊藤 倫文 (弁護士) 中村 友昭 (大学院准教授)			
審議対象期間	平成27年4月1日～平成27年6月30日			
抽出案件数	総件数 5 件	審議案件は別紙1-2のとおり		
入札・契約方式	件数	工事名等		
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	0 件		
	一般競争入札 (政府調達適用外)	2 件		
	工事希望型競争入札	0 件		
	通常指名競争入札	0 件		
	随意契約	0 件		
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	1 件			
建設コンサルタント業務等 公募型プロポーザル	1 件			
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	1 件			
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答		
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり		
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告はなし。			

別紙 1-2 抽出案件一覧表
【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

期間 平成27年4月1日～平成27年6月30日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成27年度 衣浦港外港地区西防波堤(改良)築造工事	港湾土木工事	4	3	4月28日	徳倉建設(株)	189,000	94.2	
平成27年度 四日市港霞ヶ浦北ふ地区道路(霞4号幹線)5-2工区雑工事	空港等土木工事	4	3	5月8日	東海緑化(株)	106,920	98.0	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式)

期間 平成27年4月1日～平成27年6月30日

業 務 名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成27年度 清水港湾事務所監督等補助業務	建設コンサルタント等	1	1	4月1日	マリンテクノロジー(株)	123,228	94.8	

(簡易公募型プロポーザル方式)

期間 平成27年4月1日～平成27年6月30日

業 務 名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	技術提案書 の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成27年度 名古屋港新土砂処分場漁業影響分析業務	建設コンサルタント等	1	1	4月1日	いであ・全国水産技術者協会 設計共同体	38,664	99.5	

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

期間 平成27年4月1日～平成27年6月30日

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成27年度 伊勢湾環境モニタリングに係る灯標及び観測機器保守・点検業務	役務の提供等	2	1	4月1日	(株)橋本潜水興業	24,840	98.2	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要

会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。

抽出案件	意見・質問	回答
------	-------	----

1. 一般競争入札(政府調達適用外)

平成27年度 衣浦港外港地区西防波堤(改良)築造工事	競争参加予定者一覧表において、競争参加資格なしとされている者は、どのような理由か。	本件の施工場所は、衣浦港における第一線防波堤、かつ航路近傍であり、波浪などの気象・海象条件が厳しいものですが、当該業者の施工実績は、防波堤と同等の気象・海象条件のものでは無かったため資格が無いと判断したものです。
		本件は適正に処理された。

2. 一般競争入札(政府調達適用外)

平成27年度 四日市港霞ヶ浦北ふ地区道路(霞4号幹線)5-2工区雑工事	本工事における公園の復旧・撤去工事において、撤去のみの施工箇所があるのは何故か。	当該施工箇所は、今後、高架道路の橋脚及び桁を施工することになっており、その後、復旧することになるためです。
	競争参加資格要件の実績として、歩行者系アスファルト舗装工の施工を求めたのは何故か。	本工事は、歩行者用道路の施工であり、ウレタン系表層材等を使用することとしていたため、一般的なアスファルト舗装系の道路舗装ではないことから、同種実績として歩行者アスファルト舗装工を同種実績としました。
	入札結果において、落札業者以外の2者が予定価格を超過しているが、その理由は何故か。入札手続きに係る説明や仕様書において、理解しづらい要因があったと考えられるか。	本件では、すべての参加業者について、直接工事費が官積算より高くなっていたことから予定価格超過となったものです。予定価格超過した者にヒアリングしたところ、公園撤去工と復旧工の中に複数の工種が嵩んでいるため、直接工事費が高くなったと聞いており、また、入札手続きや仕様内容については十分理解したうえで入札に臨んだと聞いております。

	<p>今回、全応札者の直接工事費が官積算より高くなったことに対して、今後、工夫できる余地はないか。</p>	<p>これまでの発注工事は大規模な土木構造物の新設が主であり、本件のように、小規模な施工・撤去工等の実績は多くありません。今後は、維持補修等において小規模な工事実績も増えてくると予想されることから、それら実績を踏まえうえで積算体系について考えていきたい。</p>
<p>本件は適正に処理された。</p>		

3. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)

<p>平成27年度 清水港湾事務所監督等補助業務</p>	<p>1者応札となった理由を把握しているか。</p>	<p>入札説明書を入手した業者に対してヒアリングした結果、発注規模が大きく、人員確保が困難であったと聞いております。</p>
	<p>発注規模を小さくすることは考えられなかったのか。発注規模は、全国的な指針で決められているのか。</p>	<p>発注規模についての全国的な指針はありません。発注規模を小さくすることについて検討しましたが、業務場所を細分化する方法については、連絡体制等の業務効率の観点から一体的な発注が望ましいと考えました。また、期間を細分化する方法は、短期間では人員確保が困難になると考えましたので、今回の発注規模としました。</p>
	<p>これまでの入札状況を教えていただきたい。</p>	<p>初年度の平成21年度は2者応札で、22年度以降は本件と同様の者による1者応札です。</p>
	<p>1社応札の現状に対しては、全国的な対応を待つ以外の方法は考えられないか。</p>	<p>本件の発注にあたっては、一層の競争性確保のため、競争参加資格要件の緩和を行いました。引き続き、業務量を勘案し、当局で実施可能な要件の緩和に努めていきたいと考えています。</p>
	<p>本件は適正に処理された。</p>	

4. 簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)

<p>平成27年度 名古屋港新土砂処分場漁業影響分析業務</p>	<p>本件は、平成26年度と27年度の2か年で実施することがあらかじめ決まっていたのか。</p>	<p>26年度に現地調査を行い、一旦取りまとめたのち、27年度に分析及び評価を行うこととしていました。</p>
	<p>昨年度の入札状況を教えていただきたい。</p>	<p>昨年度は2者から応募があり、落札者は本件と同じ者でした。</p>
	<p>前年度の現地調査結果を踏まえた分析やシミュレーションを他の業者が行うことは可能なのか。</p>	<p>入札参加資格要件としては、環境影響調査と環境影響予測の実績があれば参加することが可能であり、また、過年度の業務の報告書を閲覧できるようにしている他、昨年度の委員会資料をホームページ上で公表しているため、他の業者でも実施できると考えています。</p>
	<p>本件は適正に処理された。</p>	

5. 一般競争入札(役務の提供等及び物品の製造等)

平成27年度 伊勢湾 環境モニタリングに係 る灯標及び観測機器 保守・点検業務	平成22年度から本業務の発注を行っているとのことだが、過去の入札状況を教えていただきたい。	平成22年度から26年度までは、全て1者応札となっています。落札者は、25年度以降は本件と同じ業者で、22年度から24年度は他の業者です。
	2者応募のうち、1者を取りやめた理由は把握しているか。	具体的な理由は不明ですが、これまでの傾向から「技術者不足、手持ち業務の都合」などではないかと考えられます。
	1者応札が続いており、落札率も高いようだが、要件緩和はしているのか。	昨年度までは、観測機器について「水中部センサーを有するもの」に限定していましたが、今年度はその要件を外すことで入札参加資格要件の緩和を行いました。
	本件は適正に処理された。	
6. その他		
	なし	